

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

* (注) シチリア——イタリア半島西南の地中海にある島。

アトム——原子。事物を構成する最少単位。

モード——流行。

1

傍線部の片仮名(1)～(5)にあてはまる漢字として、本文の論旨に照らして、誤っているものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 擬態
- (2) 贅沢
- (3) 生地
- (4) 匿名
- (5) 蓄積

2

空欄 A に入る言葉として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 文化的な階層性の絶対性
- (2) 個人的な創造性の可変性
- (3) 身分的な制度性の硬直性
- (4) 社会的な流動性の可能性
- (5) 商業的な訴求性の実現性

3

本文中の〈流行現象〉あるいは〈モード現象〉に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) モード現象とは、自分は他者とは異なる独自性を持った存在であるとアピールすること、既存の集団の価値観に同化しようとする事との間の矛盾を巧妙に解消してくれる社会的な装置である。
- (2) 衣服をめぐる流行現象は、人権宣言に代表される西欧の平等思想が生み出した文化的副産物であり、フランス革命以前には全く存在しなかった、近代特有の大規模かつ象徴的な社会現象であった。
- (3) 自分達の所属する場所や身分、職業といった社会的な枠組みが明確であれば、その人々が衣服の流行現象に強力に惹き付けられることはなく、伝統や習慣などの硬直化した社会規範も不要になる。
- (4) 一九世紀前半から普及したモード現象においては、そこで求められる衣服に現実的な必要性があるか否かにかかわらず、他者を意識的に模倣するミメティスムに基づいた無目的な消費が遂行される。
- (5) 流行現象は、因習的な社会規範や不合理な差別から人々を解放すると同時に、従来の封建社会には存在していた、人と人との相互的な繋がりを曖昧にするという否定的な側面を持つものでもあった。

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 身分制社会の誕生によって、服装がその人の身分を表徴するツールとして用いられ、その種類も階層化されたことで、類似した服装が大勢が一樣に求め、それを模倣しようとする欲求のベクトルが社会的必然性を帯びることになった。
- (2) 様々な要素によって構成されたゲーム性を持つ文化として衣服を考えるという観点は、社会が個人の意識や行動を規定する力を持っているという現実を無視しており、衣服をめぐる複雑な社会的問題を解き明かす答えにはなり得ない。
- (3) 視覚メディアの中に散りばめられた上流階級の生活様式を即物的に模倣したのは、社会的な上昇の可能性を持たない一般市民であったが、そのような模倣を求める自己暗示的な幻想こそが近代の大量消費社会を動かす原動力になった。
- (4) ミメティスムは、衣服が社会秩序の中で不可欠な構成要素となるための重要な要因であるが、そこでは衣服の選択という行為自体が高度に社会化されており、もはや個人の意志や心理は全くそこに関与しないという事態が起きている。
- (5) フランス革命以降、ミメティスムと反ミメティスムの傾向が自由に発揮できるようになったが、そこでは自己の独自性を追求しようとする動きと、逆に既存集団へ自己を同化し、他人と自分を差異化しようとする動きが併存していた。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

*〔注〕 カフカー——フランツ・カフカ。「K」はカフカの代表作『城』に登場する人物の呼び名。

通名——外国籍の人が日本国内で使用する通称名。

プラハ——現チェコ共和国の首都。

ハンナ・アーレント——ドイツ出身のアメリカの思想家、哲学者。全体主義の本質を考察した。

ミラン・クンデラ——チェコ生まれのフランスの作家。言論・表現の自由を求めた政治的発言も多い。

5

傍線部(1)～(5)までの漢字の読みとして、本文の論旨に照らして、誤っているものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 傍目——ワキメ
- (2) 反撥——ハンパツ
- (3) 執拗——シツヨウ
- (4) 反古——ホゴ
- (5) 訣別——ケツベツ

6

空欄

B

C

にそれぞれ入る言葉の組み合わせとして、本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) B 政治的な保護に自己を委ねようとする
C 存在を保護する制度的要素
- (2) B 社会的な差別という運命を生きのびる
C 基本的人権の思想的基盤
- (3) B 制度的保護の外側に身を置こうとする
C 社会的生存の基礎的条件
- (4) B 法律や政治の意義そのものを否定する
C 社会内存在としての自意識
- (5) B 人間的な差別という現実へと身を曝す
C 運命を隠蔽する制度的世界

7

傍線部(a)で筆者は「これはもはや、かれだけの問題ではない。」と述べているが、その理由に関する説明として、本文の論旨に照らして、最も不適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 「日本人」という同質性の枠組みを自明なものであると考えがちな戦後生まれの日本人にとっても、自己の所属する場所をめぐる存在論的問いは重要であって、決してそれと無縁であるべきではないから。
- (2) 「在日三世のカフカは可能か」という問いは、自己の基盤を社会の中で制度的に確立するという人間の普遍的な希求を具現化したものであり、それは在日三世の友人だけに留まらない社会問題であるから。
- (3) 人間は本質的にその帰属をめぐる複雑な問題を抱えているので、そこで自分がどうあり得るのかという可能性を探求することは、在日三世の友人のみならず、その同世代の日本人にも共通するものだから。
- (4) 自分の社会的帰属性を括弧に括ってその欠損の内部に生きようとするこの可能性は、もはや在日朝鮮人という枠組みだけに留まらない、普遍的な人間存在の命題として顕在化しているものであるから。
- (5) 「書類としての人間」を常に生み出す現代の制度的世界においては、「在日三世のカフカは可能か」という問いは、そこに生きる人間存在が多かれ少なかれ抱え込まざるを得ない不可避の課題であるから。

本文の論旨に照らして、最も適当なものを次の中から一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 何かを詳細に記載した膨大な言葉の群れは存在しているが、その言葉から意味的な「実質」を剥奪しその方向性を不明化させてしまうという「書類の上に存立する世界」の姿が、カフカの『城』には象徴的に描き出されている。
- (2) ハンナ・アーレントは、「生身の人間」が社会的武器としての差別を見出すという態度の危険性を論じ、そこでは書類こそが人間存在のあり方を規定して「真実」を抹消するという、転倒した世界の構造が顕現するとしている。
- (3) 「在日三世」が生きる場所は、自己の曖昧なアイデンティティを自覚して、「何者でもない存在」を装いながらも、ユダヤ人であることによって「生身の人間」であろうとしたカフカが存在していた場所と共通するものである。
- (4) 筆者の友人である在日朝鮮人の若者にとっての「日本語」は、彼の肉体と同化し、その自己同一性を曖昧にする要素であるので、その言語的な軀殻を乗り越えて新たな自己のあり方を確立させねばならないと筆者は主張している。
- (5) 書類としての人間とは、その個人を取り巻く無機的で欺瞞を孕んだ情報のみによって定義される存在であるために、そこで強いられた社会的等級に応じた苛酷な差別と、自己の帰属する場所の空白化に絶えず苦しむことになる。

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

* (注) 栗田讃岐守兼房——一〇〇一―一六九。藤原氏。

人麻呂——柿本人麻呂。『万葉集』を代表する歌人。伝未詳。『古今和歌集』真名序で「歌聖」と仰がれた。

西坂本——現滋賀県大津市。

直衣——貴族の平常服。

薄色——薄紫、薄藍、薄紅梅色などをさす。

指貫——袴の一種。

なえたる——柔らかな。

烏帽子——元服した男子のかぶり物。

白河院——第七二代天皇。一〇五三―一二二九。讓位後も政治の実権を握り、絶大な権力をふるった。

鳥羽——白河法皇の住んだ鳥羽離宮。現京都府京都市南区・伏見区。

9

傍線部(ア)～(エ)の意味はそれぞれどれか。その組み合わせとして最も適当なものを一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- | | | |
|-----|--------------|-----------|
| (1) | (ア) すばらしい | (イ) すばらしい |
| | (ウ) 気味が悪くて | (エ) 差し上げ |
| (2) | (ア) まあまあの出来の | (イ) すばらしい |
| | (ウ) 不思議に思っ | (エ) 差し上げ |
| (3) | (ア) すばらしい | (イ) すばらしい |
| | (ウ) 不思議に思っ | (エ) 参上し |
| (4) | (ア) まあまあの出来の | (イ) めでたい |
| | (ウ) 不思議に思っ | (エ) 参上し |
| (5) | (ア) すばらしい | (イ) めでたい |
| | (ウ) 気味が悪くて | (エ) 参上し |

10

波線部のように兼房が歌が上達した理由として、最も不適当なものを一つ選び、その番号を解答用紙にマークせよ。

- (1) 和歌を詠むことに強い執着があつて、「歌聖」と尊敬されていた柿本人麻呂にあやかりたいといつも心に思っていたから。
- (2) 和歌のことばかり考えているうち、梅の花が雪のように散つて、いい香りを漂わせている、美しい情景を夢に見たから。
- (3) 和歌が上手くなりたいと人麻呂を常に意識して、和歌をどう詠もうか思案している人麻呂の姿を夢に見るほどであつたから。
- (4) 人麻呂を夢で見て、翌朝から絵師に、夢の一部始終を語って、似るまで何度も書かせるほど、和歌への情熱が強かつたから。
- (5) 人麻呂の絵を宝とし、常に礼拝して、和歌が上手く詠めるよう念じるほど、人麻呂を尊敬し、和歌に熱心だったから。

次の文を読んで、後の設問に答えよ。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

この部分に記載されている文章につきましては、著作権上の問題から掲載することができませんので、ご了承承願いたします。

*〔注〕 私悦——人知れず愛し合う。

配適——夫婦になる。

戍——辺境守備の任務。

将養——やしなう。世話をする。

廷尉——官名。裁判をつかさどる最高位の司法官。

秘書郎——官名。宮中の図書をつかさどる。

王導——晋の政治家。

精誠——まごころ。

11

傍線部(1)～(3)のさすものとして、最も適当な組み合わせを次より選び、
 解答用紙にその番号をマークせよ。

- (1) (1) もとの男 (2) 夫 (3) 父
 (2) (1) もとの男 (2) もとの男 (3) 夫
 (3) (1) 夫 (2) 夫 (3) もとの男
 (4) (1) 父 (2) もとの男 (3) 夫
 (5) (1) 父 (2) 父 (3) もとの男

12

波線部「朝廷従其議」となるに至った要因として最も適当なものを次より
 選び、解答用紙にその番号をマークせよ。

- (1) 女が死んだのは父母が結婚を強制したからで、夫に罪はなかったから。
 (2) もとの男は女が死んだのを知って深く悲しみ、こらえきれずに墓をあば
 いたから。
 (3) もとの男とは将来を誓い合っていたが、正式に結婚したのは夫であった
 から。
 (4) もとの男の真心が天地を感動させ、それゆえに死んだ女が生き返ったか
 ら。
 (5) 親のすすめた夫ではなく、元々は従軍した男と将来を誓い合っていたか
 ら。